

仮名課題手本

半紙部 五・六段検定課題（二十五日×切）

※添削を致します。お清書をお送り下さい。

すみ能えの きしによるなみ よるさえや ゆ免の可よ悲ぢ ひとめよ久らむ
住之江（現在の大阪市住吉区の海岸）の岸に寄せる波、その「寄る」という言葉の「夜」でさえ、
ひらめくよらむ

読み方

すみ能えの きしによるなみ よるさえや ゆ免の可よ悲ぢ ひとめよ久らむ （百人一首 藤原敏行朝臣）

通解

住之江（現在の大阪市住吉区の海岸）の岸に寄せる波、その「寄る」という言葉の「夜」でさえ、

夢の中の道を通して会いにきてくれないのでしょうか。

細字課題手本

半紙部 三・四段検定課題 (二十五日×切)

※添削を致します。ケイ入りの細字練習用紙をご利用下さい。

雙	少	上	劍
懸	帝	皇	閣
日	長	歸	重
月	安	馬	關
照	開	若	蜀
乾	紫	雲	北
坤	極	屯	門

読み方

劍閣の重関は蜀の北門 上皇の帰馬 雲の若く屯す 少帝は長安に紫極を開き 日月を双べ懸けて乾坤を照らす (李白詩)

意味

劍閣は、幾重にも重なった関所で蜀の北門である。上皇(前皇帝の玄宗)が長安の都へ帰る馬の隊列は、雲が屯しているかのようなものである。若い帝(玄宗)の譲位を受けた肅宗は、長安の都での天子の位に即いた。日と月(肅宗と玄宗)がそろって空にかかり、天地を照らしている。

実用書課題手本

半紙部 初・二段検定課題 (二十五日×切)

※本課題の執筆動画があります(三三〇円)ご利用ください。

今年はとりわけ
乍候が不順でど
こも病人が多い
ようです

読み方

ことし 今年はとりわけ 気候が不順でどこも病人が多いようです